

どんぐりのおはなし

観察しよう

コナラやクヌギなどの実を、「どんぐり」といいます。

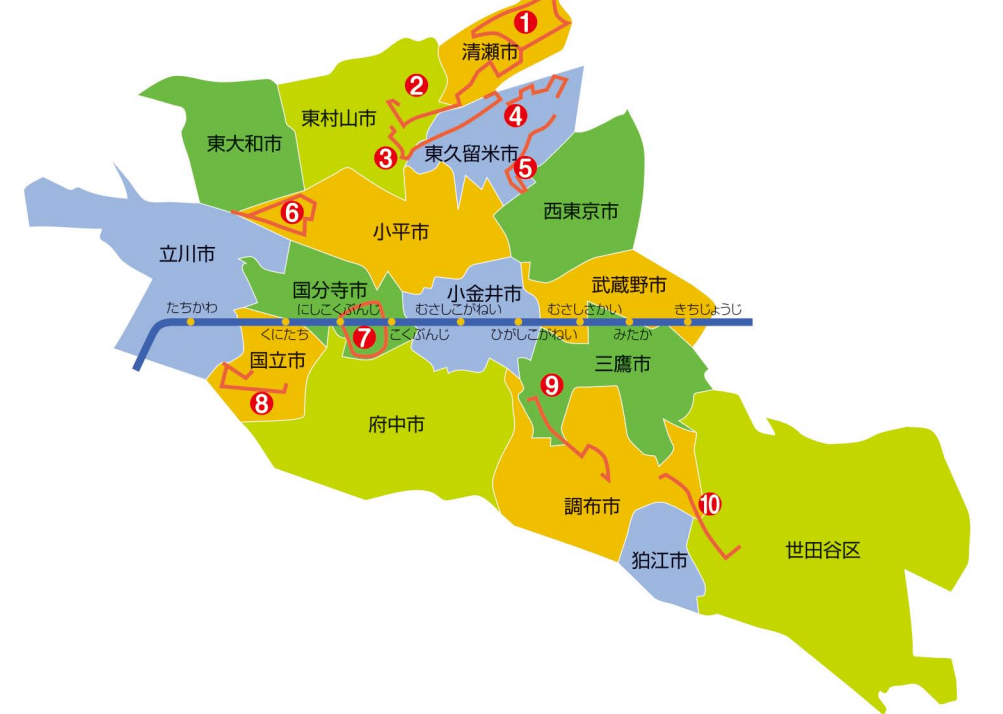
花は春から初夏にかけて咲きます。高い木の上で咲くだけではなく、地味な色や形をしていることからあまり目立たず、見たこともない人も多いのではないのでしょうか。

そして、どんぐりは花が咲いたその年の秋に成熟するとは限りません。翌年の秋になってようやく大きなどんぐりになるものがあります。どんぐりは毎年秋になると地上に落ちますが、その実ができるのに1年で熟すものと2年がかかりで熟すものがあります。成熟するのに2年かかるものでは、花と前年に結実した小さなどんぐりの両方が観察できます。花が咲いて1年目にどんぐりが成熟するものに、コナラ、カシワ、シラカシ、アラカンなどがあります。2年目に成熟するものには、クヌギ、スダジイ、マテバシイ、アカガシなどがあります。

また、拾ったどんぐりをビニール袋にいれると、どんぐりの中の水分が蒸発して、袋に水滴がついてきます。どんぐりのからは、堅くて水分の蒸発を防いでいるように見えますが、実際には乾燥に弱いのです。落ちていたどんぐりを室内においておくと、1週間もしないうちにひからびてしまいます。雑木林の中は落ち葉のおかげで地面が湿っているので、どんぐりも乾燥から守られているのです。春になったらそっと落ち葉をめくってみましょう。そこにはきっと、どんぐりが芽を出しているでしょう。



「雑木林のみち」は10コース



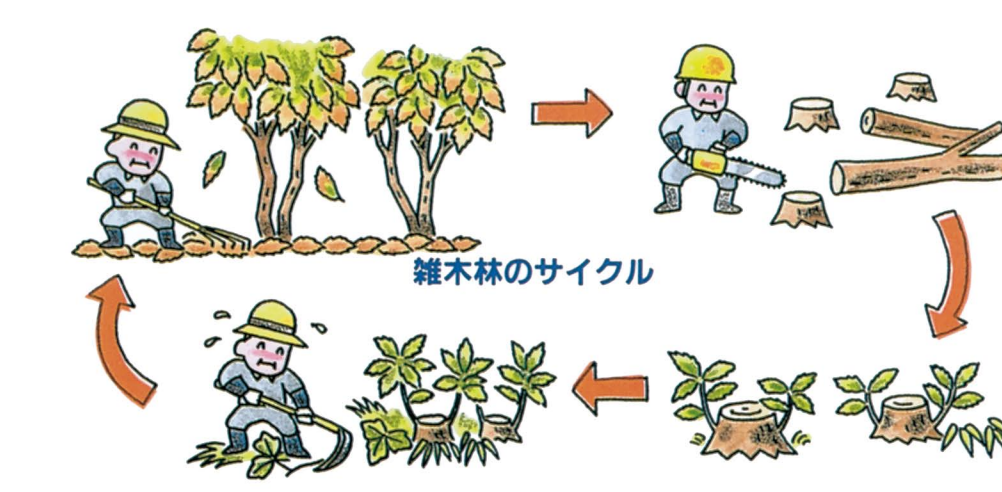
コース名	愛称	延長	風景と特徴	位置
①清瀬中里コース	広野と街道のみち	10.6km	畑の広がりや屋敷林	清瀬市
②松山・青葉町コース	森のこみち	5.9km	大平地林なごりの林	清瀬市・東村山市
③黒目川・柳窪コース	屋敷林のみち	6.0km	黒目川源流の屋敷林	東久留米市
④小山・金山コース	丘のこみち	5.0km	黒目川崖線の雑木林	東久留米市
⑤南沢・南町コース	里のみち	5.9km	湧水と新田集落風景	東久留米市
⑥玉川・野火止コース	用水の散歩みち	6.2km	用水沿いの雑木林	小平市・東大和市
⑦国分寺コース	みずかみのみち	4.7km	崖線の樹林と湧水	国分寺市
⑧矢川・青柳コース	せせらぎのみち	5.9km	崖線の樹林と湧水	国立市・立川市
⑨野川・深大コース	ハケの散歩みち	5.2km	野川緑道と崖線樹林	三鷹市・調布市
⑩調布若葉町コース	こもれびのみち	4.6km	入間川の段丘崖樹林	調布市・世田谷区

武蔵野の雑木林

「昔の武蔵野は萱原のはてなき光景を以て絶類の美を鳴らして居たやうに言ひ伝えてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といってもいい」 国木田独歩は、明治31年に著した「武蔵野」の中で、当時の武蔵野の姿をこのように描いて称賛しています。

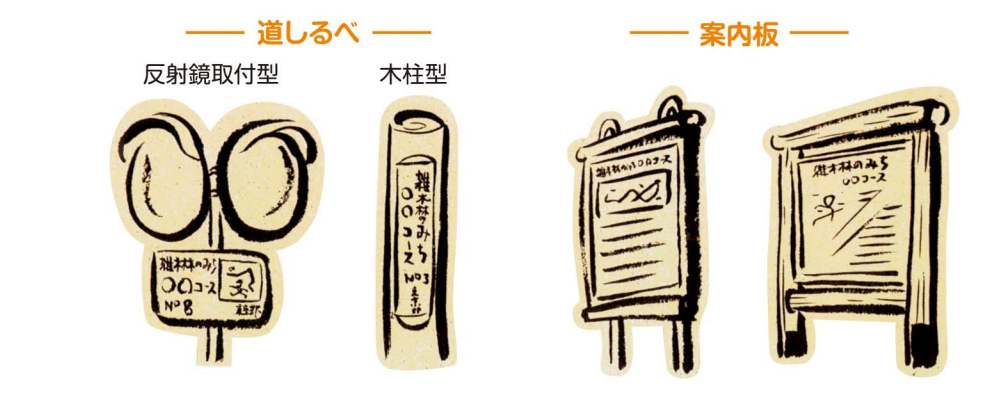
武蔵野に広がっていた雑木林は、薪や炭を得るために、15～20年の間隔で伐採され、その切り株から出た芽から育てられてきた林です。こうした利用がくり返し行われてきたため、切り株から芽を吹く力の強いコナラやクヌギなどの樹木だけが、株立ちの樹形となって残っているのです。また、毎年のように下草刈りと落ち葉掃きを行って、集めた落ち葉や下草を田畑の肥料として使うため、よく手入れされた雑木林の林の中は、比較的明るくなっています。

雑木林は、自然を破壊することなく、その力と性質とをコントロールして、継続した利用を図ってきた見事な知恵が生み出した風景ともいえます。燃料革命などによって、雑木林が農用林や薪炭林として果たしてきた役目が失われてきたとしても、私たちの祖先が工夫と愛情をもって育て、人々の生活とともに維持されてきた林であることを考え、大切にしたいものです。



「雑木林のみち」へようこそ

- 「雑木林のみち」とは
- 東京都は多摩東部地域に残る雑木林を保全し、この雑木林を中心とした武蔵野らしい風景をつづる道を「雑木林のみち」として選定しました。コース周辺に残る平地や崖線の雑木林を、都民の貴重な財産として維持し、親しんでいただくことを目的としています。
- 「雑木林のみち」の特徴
- 「雑木林のみち」のコースは次のような点に留意して選定しました。
- 1. コースの周りに雑木林や畑が比較的良く残っていたり、水辺に沿って歩けるなど、散策や自然観察に向いている。
- 2. 保全地域や保存樹林などに指定され、武蔵野の風景が守られている。
- 3. それぞれのコースは、半日あればゆっくり散策できる。
- 4. 電車やバスなどの交通の便がよい。
- 「雑木林のみち」の歩き方
- 「雑木林のみち」は、この地図のコースに沿って歩いてください。地図に標示されたコース沿いには、ところどころに下記のような案内板や道しるべが設置されています。なお、保全地域や公園などコース外であっても散策してみると、新たな発見があるかも知れません。



ここに注目!松山・青葉町コース



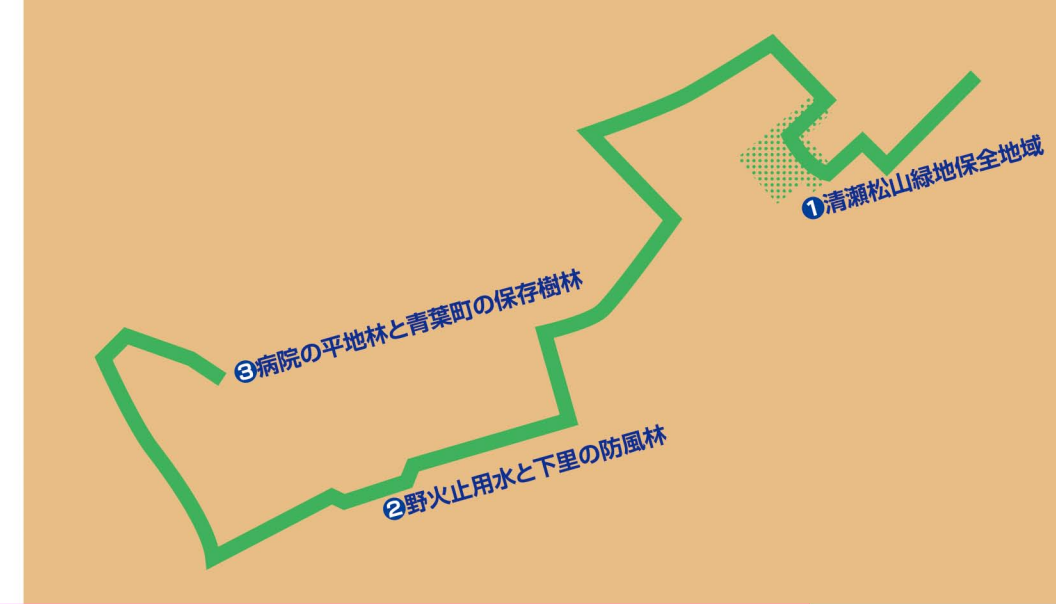
- ①清瀬松山緑地保全地域
- 以前は結核研究所の施設跡地でしたが、その一部の約43,000㎡が、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、清瀬松山緑地保全地域として昭和61年3月に指定されました。松山の地名のとおり、古くからこのあたりに広がっていたアカマツの多い雑木林と、研究所時代に植えられた樹木が残っており、比較的多くの野鳥が観察されています
- ②野火止用水と下里の防風林
- 野火止用水は、今からおよそ350年前の承応4年（1655年）、徳川三代将軍家光の時代に、時の老中松平伊豆守信綱が武蔵野開発のために開削した水路で、玉川上水の分水の一つです。昔は飲料水や灌漑用水として使われていましたが、昭和48年、上水からの分水が停止されました。
- 流れが途絶えてまもなく「再び野火止用水にいのちを」という声が高まり、

東京都はこれに応えるため昭和49年12月に保全地域に指定するとともに、下水高度処理水の利用による「清流復活事業」を計画し、昭和59年に流れがよみがえりました。

今では、放流したフナ、クチボソ、コイなどが元気に泳いでいる姿を見ることが出来ます。

また、東久留米市下里6丁目の樹林は、野火止用水歴史環境保全地域に指定されている雑木林の一つです。南側に広がる畑の風よけのために、昭和28年にクヌギを植えて育てた林です。

- ③病院の平地林と青葉町の保存樹林
- 清瀬市では、昭和の初期から雑木林を切り開いて療養所や研究所が設置されたため、広い敷地の中には雑木林が残されています。
- 東村山市青葉町付近には、今も良く管理された雑木林が残っており、市の保存樹林指定の看板が目にとまります。



2 松山・青葉町コース

森のこみち

雑木林のみち

東京都

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE OIL INK

R270
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

雑木林のみち・松山・青葉町コース

登録番号 122 号

環境資料第 28040 号

編集年月 平成 28 年 12 月

発行年月 平成 28 年 12 月

編集発行 東京都環境局

新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

TEL03(5388)3555

印刷 内外地図株式会社

イラスト 川上洋一、(有)ゼフィルス 御手洗 望